

どうして「お酒は20歳(ハタチ)になってから」なのかな？

年末年始、そしてクリスマスと冬休みは楽しいイベントがあります。

お正月で親せきが集まると、「御神酒(おみき)だから飲みはじり。」と親せきのおじさんとかにすすめられがち…。でも、未成年(20歳未満)の人がお酒を飲んではいけない理由がちゃんとあるんです。

※ビール酒造組合HP参照

① 急性アルコール中毒になりやすい

みなさんのカラダはまだまだ発達途中。内臓も成長しています。アルコールを分解する肝臓も未発達なため、アルコールが分解されずに急性アルコール中毒になりやすいのです。

② 脳の発達が妨げられる

脳もまだまだ成長途中。アルコールにより脳が縮み、神経細胞がダメージを受けます。記憶力・判断力・意欲がなくなります。正しい判断が出来ないことで、暴力行為や危険な性行為による妊娠や病気のリスクが高まります。

③ アルコール依存症になる

リスクが高くなる

アルコールには強い依存性があります。飲酒を始める年齢が若いほど、依存症になる可能性が高いという研究結果もあります。

④ 性ホルモンのバランスを崩し、

成長を妨げることがある

男性はインポテンツ(つまり勃起しなくなる)、女性は生理不順や無月経になることがある。

未成年が飲酒をした場合、「未成年飲酒禁止法」に基づき、監督者である大人が罰則の対象になります。だから、お酒を奢める大人がいたら、「罰せられるよ」と教えてあげて下さい。

知らず知らず大人は涙山いします。

今年度最後の「朝学保健ショート講話」各クラスにおじゃまします。

- 13日(月) 1A 「HIV・AIDSの知識」
- 14日(火) 2A } 「HIV・AIDSへの偏見」
- 15日(水) 2B }
- 16日(木) 3A } 「今後のライフプラン」
- 17日(金) 3B }

この日は遅刻しないで学校に登校して欲しいな....。



保健室からのお知らせ

12月のスクールカウンセラー

楠(くすのき)さんの来校日は

20日(月)です。

希望者は保健室か担任の先生まで。

